



IIAE大気環境総合センターセミナー
金沢大学環日本海域環境研究センターの研究紹介
(全2回シリーズ)

第1回【大気圏における環境研究】

2024年4月16日（火）13：30～15：30（13：00～受付開始）

「能登半島における大気エアロゾルの長期観測」

松木 篤（環日本海域環境研究センター） 敬称略

東アジアにおけるPM2.5などの大気汚染物質は、特に中国で近年施行された厳しい排出規制に伴い大幅に減少している。しかしPM2.5は微粒子のバルク質量の尺度にすぎず、サイズごとの粒子数や化学組成を反映していない。大気エアロゾルの物理、化学的特性が、質量の減少に連動してどのように変化したのかは、地域の公衆衛生のみならず、気候変動への影響を評価する上でも重要である。環日本海域環境研究センターでは、能登大気観測スーパーサイト珠洲測定局において、過去10年以上にわたり個数粒径分布をはじめとする大気エアロゾルの物理化学的特性の連続観測を行ってきた。これまでの観測から、微粒子の個数濃度の経年変化は必ずしも質量の減少傾向と一致していないことが明らかになりつつある。セミナー当日の発表では、能登半島で観測される新粒子生成イベントの長期的な傾向についても紹介する予定である。

「氷から読み解く大気汚染の歴史」

石野咲子（環日本海域環境研究センター） 敬称略

北極グリーンランドや南極大陸上に存在する氷床は、長年の積雪が積み重なることで形成されており、過去の大気成分（エアロゾルや雪中の溶存成分を含む）を保存している。そこから掘削されるアイスコア中の化学成分を分析することで、過去の大気環境の変遷を復元することができる。本講演では、話者がこれまでに北海道大学をはじめとする共同研究グループの中で取り組んできた、グリーンランドアイスコアの分析から得られた知見を紹介する。

第2回【生存圏における環境研究】は2024年5月14日（火）を予定しております

主催：一般財団法人大気環境総合センター

場所：IIAEセミナールーム/ZOOMハイブリッド開催



参加費：一般 3000円、セミナー会員 1000円、賛助会員 無料

事前登録
要

下記サイトから事前登録をお願いします。
登録された方には後日ZoomのURLをお知らせします。
<https://iiae.or.jp/seminarlist/seminar/>
問合せ：IIAE大気環境総合センター 事務局
TEL 03-6801-6082 Mail: info@iiae.or.jp

